

第49回 全国学童保育 指導員学校 北関東会場

放課後児童支援員等の資質向上のための研修会

本研修会は、学童保育指導員(放課後児童支援員等)の資質向上のための研修です。全国10会場で開催し、昨年実績で5,600人以上の方が、子どもたちの放課後の生活を豊かにするために学んでいます。どなたでも参加できます。

オンライン(zoom)による研修 **受講料2,000円**
2024年6月23日(日) 9:15受付(入室)

9:15	10:00	12:00	13:00	16:00
研修内容	受付(入室)	全体会	休憩	15講座

● 全体会 ●

● 基調報告 全国学童保育連絡協議会

● 全体講義 **居場所ってなんだろう?**
— 学童保育が居場所であり続けるために —



【講師】南出 吉祥氏 (岐阜大学地域科学部准教授)

《講師プロフィール》教育学を基盤にしつつ、「社会のなかでの人の育ち」を捉える視点を軸にして、〈若者の自立〉にまつわる実態・実践・政策などを多角的に探求。とりわけ近年では、若者支援、ユースワーク、居場所づくりなど、地域・市民ベースでのさまざまな実践のなかにある教育的機能を捉えていく研究に取り組んでいる。教育科学研究会『教育』編集長も務める。また、社会活動の一端として、「若者協同実践全国フォーラム(JYCフォーラム)」、「ぎふ学習支援ネットワーク」、「仕事工房ポポロ」、「よりよいネットワークぎふ」などの運営にも携わっている。
《主な著書》「若者/支援」を読み解くブックガイド、阿比留久美、南出吉祥ほか、かがわ出版 2020年3月、など。

主催：全国学童保育連絡協議会
後援：茨城県

■お申し込み・受講料振り込み■ 下記 URL をご覧ください。

- https://drive.google.com/drive/folders/1zK11LuDI2egLWhIT20C865TsQCoFPhz1?usp=sharing
- 1台のパソコン等で複数名受講できますが、受講料は1名あたり2,000円です。またその場合、午後の講座は共通のものとなります。受講料2,000円を振り込みのうえお申し込みください。
- 携帯電話会社が提供するキャリアメール(**@docomo.ne.jp など)ではお申し込みになれません。



● 振込先口座

ゆうちょ銀行 019店 当座預金 0093727
(郵便振替 00160-7-93727)
名義：埼玉県学童保育連絡協議会

● 申し込み用メール **gakudoust@gmail.com** (埼玉県学童保育連絡協議会)
● 申し込み締め切り **6月10日(月)**
● 申し込み受付後 6月13日(木)までに、資料や接続練習会、ZOOMの接続情報等、受講に必要な事項をまとめ、指定のメールアドレスへ送ります。

● 接続練習会 6月18日(火)、午前10:00～11:30、午後8:00～9:30にZOOMの接続練習会をおこないません。ZOOMの操作に不安がある方は練習会への参加をおすすめします。
● キャンセル 6月17日(月)までに、メールでご連絡ください。事務費(振込手数料)を差し引いた額を返金いたします。6月18日(火)以降のキャンセルは返金できません。

申し込み・
問い合わせ

埼玉県学童保育連絡協議会
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-147-1 藤本ビル3階
TEL. 048(644)1571 FAX. 048(644)1572

できるだけ
メールまたは
FAXで、お願
いします。

第49回 全国学童保育指導員学校・北関東会場 講座

*講座の末尾の番号は、全国学童保育連絡協議会が作成した「指導員の研修課目(試案)」に該当するものです。

● 入門講座 指導員として基本的な事項を学びます。

1 学童保育とは何か、指導員の仕事・役割は何か

【講師】佐藤 正美 (全国連協・埼玉県さいたま市指導員) I-1-④ II-1-① III-1
学童保育は共働き、一人親家庭の親の労働を保障し、子どもたちの生活を守る場です。指導員は、日々の子どもの生活をつくることを通じて、親が安心して働くことを保障しています。そのためには、子どもたちの信頼に応える力量や指導員としての職業意識も求められます。学童保育の仕事・役割、指導員である事から生じる倫理等について学びます。

2 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の実務

【講師】山川 美江子 (山形県山形市指導員) II-3
新任の頃は子どもと一日、どう過ごせばよいか悩む方が多いのではないのでしょうか?宿題、おやつ、あそび等の流れをどう作るか、行事などの取り組みをどうするか、年間の流れ、一日の流れをどうつくるかを具体的に学びます。また、指導員の仕事は、保育以外に打ち合わせ等の事前準備、保育記録などの事後のこと、保護者や学校、行政との連絡などもあります。それらの実務についても学びます。

3 日々の記録から実践の記録へ

【講師】合田 瑞穂 (埼玉県さいたま市指導員) V-1
日々の保育を記録することは、指導員自身が保育内容を振り返って確かめ、より豊かな実践をつくっていく上で大切な仕事です。記録をもとに指導員どうしが話し合い、検討し、学びあうこと、この積み重ねが実践の向上につながります。また、国の「放課後児童クラブ運営指針」にも記録の必要性が示されています。実践を記録することの意味から、実際に記録を書いていることまでを学びます。

*理論講座4-11、実践講座12-14、運動に関わる講座15は裏面をご覧ください。